

## 序

トヨタ マークIIは昭和59年8月にセダン、ハードトップのフルモデルチェンジを行い、落ち着きとゆとりのハイグレードパーソナルカーとして好評を博しておりますが、このたびワゴンおよびバン系を追加発売し、車種構成を一層充実しました。トヨタ マークII ワゴンおよびバンは、改良された1G-EU エンジン（ワゴン系）や一新された2Y-J, 2L エンジン（バン系）の搭載をはじめ、新たに採用された4リンク式リヤサスペンション（バン系）、ラック & ピニオン ステアリングやセダンと同様のフラツシュ サーフフェイス ウインドなどセダン イメージのワゴン、バンとして、幅広いユーザに誇りと満足をもつていただけるものと確信いたしております。

1. 本書は昭和59年11月現在の生産車両を対象に解説してあります。その後の生産車両につきましては、仕様の変更などにより本書の内容と異なることがありますので、あらかじめご承知おきください。  
なお、本書はマークII セダンとの相違点を中心に解説してありますので、昭和59年8月発行のマークII新型車解説書（品番61084）と併せてご利用ください。
2. サービス上必要な事項につきましては、修理書、配線図集、パーツ カタログ等をご参照ください。

昭和59年11月（1984-11）

**トヨタ自動車株式会社**  
**サービス部**